

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年五月度 入選句 (投稿総数二千二百六十七句・小中学投句数千六百五十五句)

特選

この色の絵の具がほしい初夏の空 大垣市 小林 凜子(小六)

「五月晴」という言葉もあるように五月は良い天気が続いていますね。雲一つなく、地球の丸さが実感できるような青く丸い空。作者は「こんな空の色で絵の具にあつたかな。あれば絵を描いてみたいな」と思ったのでしょうか。手では作り出せないような自然の神秘さに感動している作者の気持ちが伝わってくる俳句です。

しょうぶがね湯ぶねにうかぶ祖母の家 大垣市 牛田 帆香(小四)

五月五日は「こどもの日」「端午の節句」とも言われ、瑞々しい若草色をし、その形がまるで昔武士が使っていた「刀」のような形をしていることから「お風呂に入れて元気な子に育ちますように」とこの願いからお風呂に入れられるようになったようです。今では、身近に「菖蒲の葉」も少なくなり「菖蒲湯」をする家も少なくなつたようです。そんな中でおばあちゃんの家では、菖蒲湯をされたのですね。「今年も元気でありますように」というおばあちゃんの想いも伝わってくる俳句です。

さか上がり春風エールでできちゃった 大垣市 高橋 風咲(小四)

作者は「逆上がり」に何度も挑戦していたのでしよう。そこへ春風が吹いてきた。その風が逆上がりをしていて作者の背中を押す形になったのですね。その風を自分への「エール」ととらえているところがおもしろいです。自分の行動を自然との関りの中で喜んでいけることはとてもいいことです。

秀逸

春風が私のかみをおどらせる 愛知県高浜市 竹内 翠南(中二)

ミツバチが大いそがしだみつあつめ 大垣市 中屋 蒼亮(小二)

そらおよぐ雲とおしやべりこいのぼり 大垣市 明石 さわ(小四)

しゆくだいであたまの中は青あらし 大垣市 金森 恵世(小四)

むらさきのカーテンみたいふじの花 大垣市 廣嶋 太志(小五)

ツバメの巣ひながなく母ごはんしたく 大垣市 坂本 成美(小五)

まだねむい私を起こすつばめの子 大垣市 多賀 葵唯(小五)

春の日にはいくがぜんせん思いつかん 大垣市 加代 昊大(小五)

蛙鳴く下校中がコンサート 大垣市 杉野 煌太(小五)

花びらをかばんに受ける一年生 大垣市 高井 歩乃香(小六)

入選

風光る新学年になるあいず	愛知県碧南市	横井	友春(小五)
うんどう会パンをつかんで走りぬく	大垣市	伊藤	麻央(小三)
虫たちが野原にあつまり食じ会	大垣市	高山	結衣(小三)
春風にまう花びらをおいかける	大垣市	高田	茉友里(小四)
よりみちはママのためだよはなをつむ	大垣市	松岡	大治(小四)
キヤッチしたボールといっしょに花びらを	大垣市	石黒	海成(小五)
しゃぼん玉空を写して旅に出る	大垣市	平松	由衣(小五)
おはようとあいさつしてくるつばめさん	大垣市	あさの	みゆう(小二)
ちる桜ボールといっしょにとんできた	大垣市	清水	琉惺(小四)
こいのぼり私も空につれてって	大垣市	炭竈	玲亜(小五)

入選

母の日は私がママだよやすんでね	大垣市	服部	瑠花(小五)
葉桜がザワザワとゆれ歌う	大垣市	栗田	武蔵(小六)
新緑のにおいの中を散歩する	大垣市	宮森	彩羽(小六)
運動会父は私の応援団	大垣市	遠藤	來花(小六)
雨の音かえると一緒に歌ってる	大垣市	森麻	亜子(小六)
春の空涙の雨降る別れの日	大垣市	川瀬	里菜(中二)
うんていでちようちよがおうえんのぼりきる	大垣市	川合	杏奈(小二)
一年生体の半分ランドセル	大垣市	川村	梨々花(小六)
こいのぼり大きな口で空をすう	大垣市	神村	奏多(小四)

選者吟

後になり先になり蝶草の海

祐子